

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語)

(専攻・分野 哲学・倫理学専攻)

(科目 英語)

英語で書かれた専門的な哲学の文章を読解する力を問う問題である。議論の展開をつかむためには、博士レベルで求められる十分な語彙力に加え、高度な文法内容を含む箇所であっても構文を正確にとらえる力が求められる。加えて、知らない単語や表現であっても、前後の文脈や全体の流れから意味を推測してゆく力も問われている。

出題の意図

(選択言語、専門科目、**指定言語**)

(専攻・分野 美学美術史学専攻・美学美術史学分野)

(科目 英語)

設問 英文和訳問題

英語で書かれた美学美術史学分野の比較的長文のテキストを課題とし、複数箇所の和訳を通して、博士課程における自立的な研究遂行に不可欠な、高度な文献読解能力を測る問題である。評価にあたっては、語句の逐語的理解にとどまらず、文章全体の論理構成や議論の枠組みを的確に把握し、著者の主張とその理論的意義を正確に捉えているかどうかを重視する。本試験は、当該分野の主要概念や研究史、方法論について、十分かつ体系的な専門知識をすでに身につけていることを前提とする。そのうえで、複雑な構文や抽象度の高い議論に対しても、その論理的関係を丁寧かつ的確に読み解く力が求められる。さらに、未知の語彙や専門的表現に直面した場合にも、文脈やこれまで培ってきた知識を手がかりに妥当な意味を導き出し、学術的水準にかなった日本語として適切に表現できる、博士課程に求められる思考力と記述力が期待される。

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語)

(専攻・分野 東洋史学)

(科目 英語)

東洋史学に関する英語の文章に対する理解力を問う問題である。文章の要点をよく理解した上で、細部にいたるまで正確に日本語に翻訳する力が求められている。

博士課程における東洋史学の研究に必要な語彙力にくわえて、高度な文法内容を含む複雑な構文や専門性の高い内容も正確に理解することが求められる。

知らない固有名詞や専門用語がある場合でも、文章全体の大意や前後の文脈から意味を推測する力も問われる。

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語)

(専攻・分野 西洋史学)

(科目 英語)

設問1. 読解問題

西洋史学分野に関する英語の学術的な文章を把握し、それを日本語で適切に表現する力を問う問題である。文章全体の流れをつかむためには、博士課程レベルで一段と求められる十分な語彙力に加え、やや高度な文法内容を含む箇所であっても構文を正確に把握し、さらに扱われている内容の時代性や地域性を歴史的に理解することが求められる。時代錯誤的ではない適切な訳語の選定を行い、正確に日本語に訳すことができる知識の有無も問われている。加えて、知らない単語や表現であっても、前後の文脈や全体の流れから意味を推測する力も問われる。

設問2. 読解問題

設問1とは異なるトピック／時代を扱う英語の学術的な文章を把握し、それを日本語で表現する力を問う問題である。文章全体の流れをつかむためには、博士課程レベルで求められる十分な語彙力に加え、やや高度な文法内容を含む箇所であっても構文を正確に把握し、さらに扱われている内容の時代性や地域性を歴史的に理解することが求められる。時代錯誤的ではない適切な訳語の選定を行い、正確に日本語に訳すことができる知識の有無も問われている。加えて、知らない単語や表現であっても、前後の文脈や全体の流れから意味を推測する力も問われる。

出題の意図

【博士課程】

(指定言語)

(専攻・分野 史学専攻民族学考古学分野)

(科目 英語)

設問. 読解問題

英語の比較的長い文章の大意を把握する力を問う問題である。限られた時間のなかで、文章全体の流れをつかむためには、博士レベルで求められる十分な語彙力に加え、やや高度な文法内容を含む箇所であっても構文を正確にとらえる力が求められる。加えて、知らない単語や表現であっても、前後の文脈や全体の流れから意味を推測してゆく力も問われている。

出題の意図

(指定言語)

(専攻・分野 中国文学専攻)

(科目 指定言語)

設問1 読解問題

現代中国語の文学作品を読み、正確で自然な日本語に訳す能力を問う問題である。博士レベルで求められる語学力、具体的には文章全体の構成を理解した上で、文中の語句の意味及び用法を正しく理解する中国語の文法力や文学作品特有の修辞技法などに対する高度な読解力・理解力が問われている。

設問2 読解問題

中国語の古典作品を読み、正確で自然な日本語に訳す能力を問う問題である。博士レベルで求められる語学力、具体的には、文章全体の構成を理解した上で、中国語の古典作品を読解する際に求められる文法力・語彙力が問われている。さらに、中国古典文学における幅広い背景知識を持ち合わせているかという点も出題文を日本語に訳すための条件となる。

出題の意図

博士

(指定外国語)

(専攻・分野

英米文学専攻

)

(科目

英語

)

英文和訳・和文英訳を通じて、英語と日本語の、研究に資するより高度な読解力と精確な表現力を備えているかを測る。

出題の意図

(選択言語、専門科目、○指定言語)

(専攻・分野 独文学)

(科目 独語)

設問 1. 読解問題

ドイツ語の学術的な文章を読解する力を問う問題である。博士課程レベルで求められる語彙力に加え、高度な文法内容を含む箇所であっても構文を正確にとらえる力が求められる。加えて、文学研究に用いられる各種語彙や言い回しを適切な日本語で表現し直せることも要求される。

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語) 博士課程

(専攻・分野 仏文学)

(科目 フランス語)

設問Ⅰ．読解問題

フランス語の読解力を問う問題である。文章全体の流れをつかむためには、博士レベルで求められる十分な語彙力に加え、やや高度な文法内容を含む箇所であっても構文を正確にとらえる力が求められる。加えて、知らない単語や表現があっても、論理的に意味を推測してゆく力も問われている。

設問Ⅱ．読解問題

フランス語の読解力を問う問題である。文章全体の流れをつかむためには、博士レベルで求められる十分な語彙力に加え、やや高度な文法内容を含む箇所であっても構文を正確にとらえる力が求められる。加えて、知らない単語や表現があっても、論理的に意味を推測してゆく力も問われている。

出題の意図

(選択言語、専門科目、**指定言語**)

(専攻・分野 図書館・情報学専攻 図書館・情報学分野)

(英語)

図書館・情報学の基本的なテーマを扱う 90 語程度の英語の文章を理解し、それを日本語に翻訳する力を問う問題である。文章を理解するためには、図書館・情報学における基本的な概念を理解していることに加えて、博士レベルで求められる語彙力と共に、構文を正確に捉える力が求められる。さらに、知らない単語や表現についても、前後の文脈や全体の流れから意味を推測し、日本語として意味が通る文章で表現する力も問われている。文章は提示された 3 題のうち 2 題を選択して解答することが求められる。